

u-DIEX HULFT インターフェース支援システム

## エラーメッセージ一覧

2.1 版

2022/10/1

株式会社トヨタシステムズ

## 変更履歴

2004/09/13	1.0 版	新規作成
2004/12/22	1.1 版	変更 <ul style="list-style-type: none"><li>・新機能に伴うエラーメッセージの追加</li><li>・支援システム操作中表示メッセージ一覧の削除</li></ul>
2005/02/18	1.2 版	変更 <ul style="list-style-type: none"><li>・エラー通知メール送信機能拡張に対応</li><li>・エラーメッセージ内容の一部変更</li></ul>
2005/05/13	1.3 版	追加 <ul style="list-style-type: none"><li>・新機能に伴うエラーメッセージの追加</li><li>・参照先章番号の変更</li></ul>
2005/08/29	1.4 版	追加 <ul style="list-style-type: none"><li>・新機能に伴うエラーメッセージの追加</li></ul>
2007/05/13	1.5 版	変更 <ul style="list-style-type: none"><li>・新機能提供に伴うメインメニュー画面の変更</li></ul>
2011/12/12	1.6 版	変更 <ul style="list-style-type: none"><li>・画面コピーの差し替えし</li></ul>
2018/4/9	1.7 版	修正 <ul style="list-style-type: none"><li>・一部画像を修正</li></ul>
2019/1/1	2.0 版	修正 <ul style="list-style-type: none"><li>・会社名変更</li></ul>
2022/10/1	2.1 版	修正 <ul style="list-style-type: none"><li>・カスタマーセンター問合せ先を TEL/FAX/E-Mail からポータルサイトへ変更</li></ul>

## 目次


1. エラーメッセージの出力.....	3
1.1. メールによるエラーメッセージ通知.....	3
1.2. u-DIEX HULFT インターフェース支援システム (Web 画面) 上のエラーメッセージ表示.....	5
2. エラー発生時の対応手順.....	7
2.1. エラーの判別方法.....	8
3. エラーメッセージ一覧.....	11
3.1. 送受信処理の異常終了時に通知・表示されるメッセージ一覧.....	11
4. お客様での確認, 調査, 対応方法手順.....	29
4.1. パターン① [ファイル送受信情報管理－受信情報].....	30
4.2. パターン② [受信状況確認].....	31
4.3. パターン③ [ファイル送受信情報管理－送信情報] - 情報公開 -.....	32
4.4. パターン④ [ファイル送受信情報管理－送信情報(取引先)] - 汎用 -.....	33
4.5. パターン⑤ [ファイル送受信情報管理－送信情報(MSG 識別子)] - 汎用 -.....	34
4.6. パターン⑥ お客様 HULFT [状況照会－集信状況照会].....	35
4.7. パターン⑦ お客様 HULFT [システム管理－集信管理情報].....	36
4.8. パターン⑧ お客様 HULFT [システム管理－配信管理情報] - 受信要求ファイル -.....	37

## 1. エラーメッセージの出力

ファイルの送受信中にエラーが発生した場合、エラー内容をご確認いただく方法は下記の2通りです。

- 管理者様の E-Mail アドレス宛てにメールで通知
- u-DIEX HULFT インターフェース支援システム(Web 画面) の「利用状況確認」機能で表示

**「管理者」とは？**



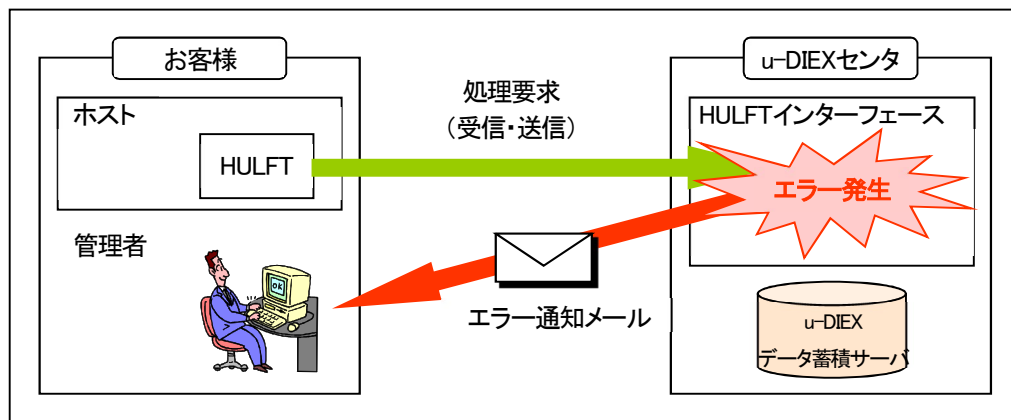
「u-DIEX HULFT インターフェース 支援システム」(Web)をご利用いただくお客様の、「システム管理者」という位置付けになります。

本システムに関する弊社からのお知らせは、この「管理者」様宛てにさせていただきます。

管理者様には、通知された情報を元に業務ご担当者様への連絡、エラーの対処等をご担当いただくことになります。

### 1.1. メールによるエラーメッセージ通知

「u-DIEX HULFT インターフェース利用申込書」で申請いただきました、管理者様のアドレス宛て※1にメールで通知されます。通知されたメールの内容を元に、エラーメッセージ一覧から「対策」をご確認ください。



次の 2 ケースについてはメールが送信されません。

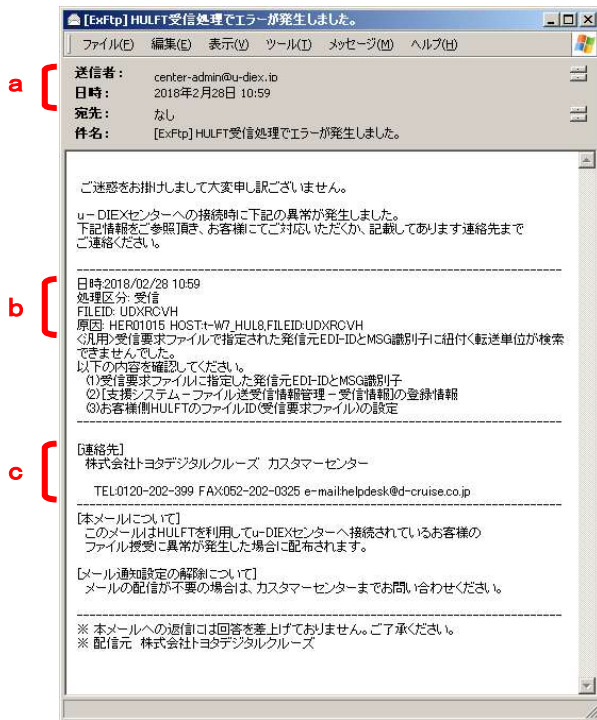
- ① HULFT 配信エラー (u-DIEX センタまで処理要求が届かないケース)
- ② お客様 N/W の障害

※ 対処方法については「2. エラー発生時の対応手順」をご参照ください。

※1 管理者様のアドレス宛て

- ・エラー内容から、管理者様の ID が特定できれば、その ID の管理者様のアドレス宛て
- ・エラー内容から、管理者様の ID が特定できなければ、該当会社の各 ID の管理者様全員のアドレス宛て

## (1) エラーメールの通知内容



## a) メールヘッダー部

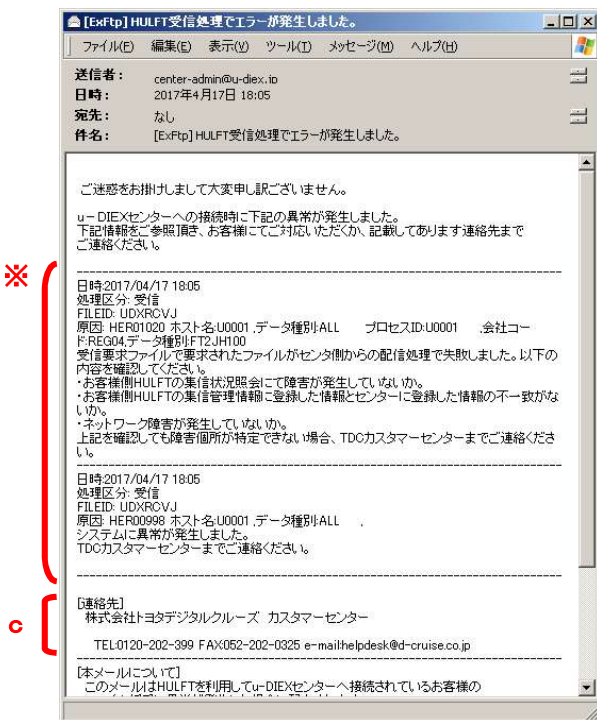
送信者 : [center-admin@u-diex.jp](mailto:center-admin@u-diex.jp)  
(センタから自動で送信されます)  
日時 : センタがエラーを感知した日時

## b) エラーの原因と対処方法

日時 : エラーが発生した日付 時刻  
処理区分 : 送信 または 受信  
FILEID : エラー対象となった処理に利用した ID  
原因 : エラーメッセージ ID  
HOST : エラー対象となった処理に利用したホスト名

## c) 問い合わせ先

連絡先 : 弊社カスタマーセンター連絡先



※ 1通のエラーメールの中に、複数件のエラーの原因と対処方法が含まれる場合がありますのでご注意ください。

## (2) 対処方法

(1)の「b) エラーの原因と対処方法」に記載されている原因のエラーメッセージ ID から、エラーメッセージ一覧表(P.11～参照)より該当する箇所をご確認ください。

マニュアルの対応方法にそって設定の確認や変更などエラー解決のための対処をお願いいたします。

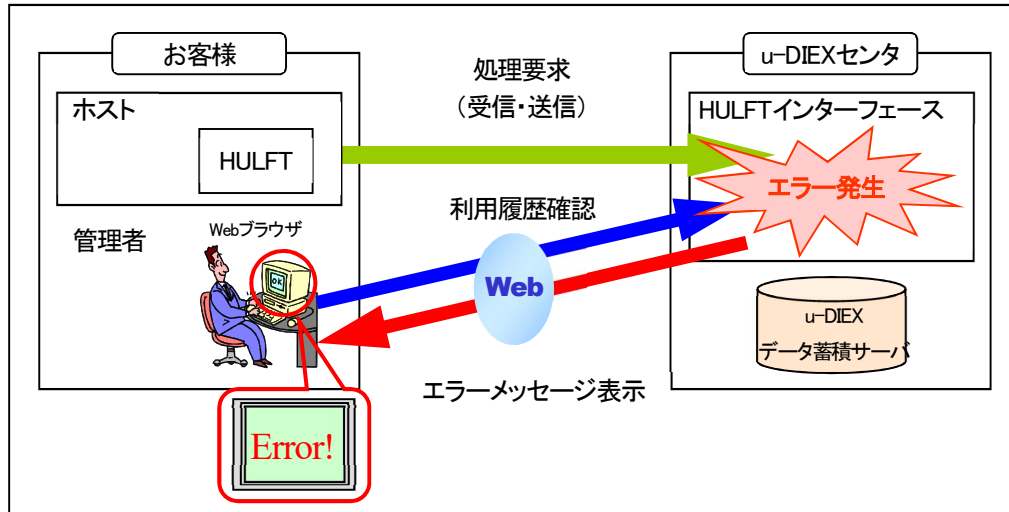
解決できない場合には、(1)の「c) 問い合わせ先」に記載されている、弊社カスタマーセンターまでお問い合わせください。

※詳しくは、「2. エラー発生時の対応手順」をご参照ください

## 1.2. u-DIEX HULFT インターフェース支援システム(Web 画面)上のエラーメッセージ表示

「u-DIEX HULFTインターフェース支援システム(Web)」の利用履歴確認機能<sup>※1</sup>を使って、送受信したファイルID(MSG識別子(汎用)/データ種別(情報公開))毎に、発生したエラーの内容を確認することができます。

表示された内容を元に、エラーメッセージ一覧から「対策」をご確認ください。



### (1) エラーメッセージの表示内容

u-DIEX HULFTインターフェース支援システム - Windows Internet Explorer

利用履歴詳細【u-DIEX(汎用) サービス】

2011/10/24  
ユーザID: Digital001  
ユーザ名: デジタル 太郎

[戻る](#)

管理名	O999T01
MSG識別子	ITDCK01
発信元	O999T02
送信先	O999T01
処理種別	受信
処理開始日時	2011/10/24 13:13:35
処理終了日時	2011/10/24 13:22:47
処理結果	異常終了
内容	<p>HER01020 ReceiveSpecialTnsex ホスト名:B8489,メッセージ識別子:ALL EDI-ID:O999T01 ,MSG-ID:ITDCK01</p> <p>受信要求ファイルで要求されたファイルがセンタ側からの配信処理で失敗しました。以下の内容を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様側HULFTの集信状況照会にて障害が発生していないか。</li> <li>・お客様側HULFTの集信管理情報に登録した情報とセンタに登録した情報の不一致がないか。</li> <li>・ネットワーク障害が発生していないか。</li> </ul> <p>上記を確認しても障害箇所が特定できない場合、TDCカスタマーセンタまでご連絡ください。</p>

※1 「利用履歴確認」機能についての詳しい操作方法は、下記の手順書をご参照ください。

- ・汎用 : u-DIEX HULFT インターフェース支援システム操作手順書【u-DIEX(汎用)サービス編】
- ・情報公開 : u-DIEX HULFT インターフェース支援システム操作手順書【u-DIEX(情報公開)サービス編】

## a) 送受信したファイルの情報

管理名 : ファイル送受信に利用した ID の管理名  
MSG 識別子 : お客様 HULFT の集配信管理情報に登録されているファイル ID  
(情報公開サービスの場合は「データ種別」と表記)  
発信元 : ファイルの発信元 EDI-ID(汎用)/ユーザ(情報公開)  
送信先 : ファイルの送信先 EDI-ID(汎用)/ユーザ(情報公開)  
処理種別 : 送信 または 受信  
処理開始日時 : センタ上で処理が開始された日時  
処理終了日時 : センタ上で処理が終了された日時

## b) 送受信したファイルの処理結果

処理結果 : 正常終了 または 異常終了  
内容 : 処理結果「異常終了」の場合その内容を表示  
(メール通知される内容と同じ内容を表示)

## (2) 対処方法

(1)の「b」送受信したファイルの処理結果」に記載されている内容から、エラーメッセージ一覧表(P.11～参照)より該当する箇所をご確認ください。

マニュアルの対応方法にそって設定の確認や変更などエラー解決のための対処をお願いいたします。

解決できない場合には、弊社カスタマーセンターまでお問い合わせください。

**株式会社 トヨタシステムズ カスタマーセンター**

**ポータルサイト** <https://ts-customer-center.custhelp.com/>

※詳しくは、「2. エラー発生時の対応手順」をご参照ください

## 2. エラー発生時の対応手順

ファイル送受信中にエラーが発生した場合には、以下の手順に従って原因の特定を行ってください。

### 1. 通常の手順と異なることを行っていないか、確認します。

通常の手順と違う方法で、データ送受信を行っていないか？  
また、前回正常終了したときと、何か環境が変わっていないか？ などを確認します。



原因が特定できた場合は、対処してから次へ進んでください。

### 2. 通常の手順で行ってみて、再度エラーになるか確認します。

通常の手順で行ってみます。



エラーが再現される場合、次へ進んでください。

### 3. お客様側のエラーか、センタ側のエラーかを判別します。

お客様側 HULFT のエラーなのか、u-DIEX センタ側のエラーなのかを判別します。  
お客様側のエラーの場合、エラー通知メールが届かない可能性があります。



次ページ以降の方法で、判別を行います。

### 4. 「エラー通知メール」が届いていないか確認します。



「4. お客様での確認・調査・対応方法手順」へ進んでください。

### 5. 解決しない場合、弊社カスタマーセンターへご連絡ください。



株式会社 トヨタシステムズ カスタマーセンター

ポータルサイト <https://ts-customer-center.custhelp.com/>



## 2.1. エラーの判別方法

### 3. お客様側のエラーか、センタ側のエラーかを判別します。①

まず、お客様側 HULFT で出ているエラー内容を確認します。

#### 【確認方法】

お客様 HULFT 画面(または管理画面・マネージャ)を起動し、メニューより「状況照会」を選択します。

例) Windows の場合

OSによっては、「HULFT 管理画面」起動コマンドを入力する必要があります。  
詳細は、お客様の HULFT オペレーションマニュアルをご参照ください。

(1) メニューより「状況照会」を選択します。

ファイル(F) 表示(V) **状況照会(B)** システム管理(M) 要求発行(R) ツール(T) オプション(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

(2) 「集信状況照会」を選択します。

状況照会(B)  
 配信状況照会(S)  
**集信状況照会(R)**  
 要求状態確認(A)  
 スケジュール履歴一覧(C)  
 未配信状況一覧(U)  
 再配信待ち状況一覧(N)  
 今日のスケジュール(T)

(3) 「集信状況一覧」画面が表示されます。

ファイルID	ホスト名	開始日付	開始時刻	終了日付	終了時刻	完了コード	コード件数	接続
AAA	ike	2004/08/03	15:01:44	2004/08/03	15:01:44	000000(000000)	2	LAN
AAA	ike	2004/08/03	15:01:07	2004/08/03	15:01:07	109701(000080)	0	LAN
AAA	ike	2004/08/03	15:00:09	2004/08/03	15:00:09	108802(000000)	0	LAN
TEST	yan	2004/07/07	19:38:00	2004/07/07	19:38:00	000000(000000)	1	LAN

a. 開始日付・開始時間を元に、今回のエラーを特定し、「完了コード」を取得します。

b. エラーコード(左側の数字下3桁)を確認します。

#### 完了コードの見方

正常 : 000000(000000) ←すべてゼロ

異常 : 123456(789012) ←ゼロ以外

※左側の数字下3桁を、HULFT のマニュアルで調べます。

・ HULFT のエラーの場合



セゾン情報システムズにお問い合わせください。

・ 障害内容がお客様に起因していない場合



次ページへ進んでください。

### 3. お客様側のエラーか、センタ側のエラーかを判別します。 ②

#### 【確認方法】

お客様 HULFT 画面(または管理画面・マネージャ)を起動し、メニューより「状況照会」を選択します。

例) Windows の場合

OSによっては、「HULFT 管理画面」起動コマンドを入力する必要があります。  
詳細は、お客様の HULFT オペレーションマニュアルをご参照ください。

(1) メニューより「状況照会」を選択します。

ファイル(F) 表示(V) **状況照会(B)** システム管理(M) 要求発行(R) ツール(T) オプション(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

(2) 「配信状況照会」を選択します。

状況照会(B)  
**配信状況照会(S)**  
集信状況照会(R)  
要求状態確認(A)  
スケジュール履歴一覧(C)  
未配信状況一覧(U)  
再配信待ち状況一覧(N)  
今日のスケジュール(T)

(3) 「配信状況一覧」画面が表示されます。

ファイルID	ホスト名	開始日付	開始時刻	終了日付	終了時刻	完了コード	コード件数	接続
AAA	ike	2004/08/03	15:01:44	2004/08/03	15:01:4	000000(000000)	2	LAN
AAA	ike	2004/08/03	15:01:07	2004/08/03	15:01:0	333450(00701)	0	LAN
AAA	ike	2004/08/03	15:00:09	2004/08/03	15:00:0	333450(00802)	0	LAN
TEST1	yan	2004/07/22	17:53:45	2004/07/22	17:53:4	000000(000000)	0	LAN
TEST	yan	2004/07/07	20:00:29	2004/07/07	20:00:2	000000(000000)	1	LAN
TEST	yan	2004/07/07	19:59:19	2004/07/07	19:59:1	000000(000000)	1	LAN
TEST	yan	2004/07/07	19:49:23	2004/07/07	19:49:2	000000(000000)	1	LAN
TEST	yan	2004/07/07	19:35:12	2004/07/07	19:35:1	000000(000000)	1	LAN
TEST	yan	2004/07/07	19:34:42	2004/07/07	19:34:4	000000(000000)	1	LAN

a. 開始日付・開始時間を元に、今回のエラーを特定し、「完了コード」を取得します。

b. エラーコード(左側の数字下3桁)を確認します。

#### 完了コードの見方

正常 : 000000(000000) ←すべてゼロ

異常 : 123456(789012) ←ゼロ以外

※左側の数字下3桁を、HULFT のマニュアルで調べます。

■注意■ 受信エラーの場合は、「集信状況」でエラーが出ている可能性があります。  
必ず前ページの「集信状況照会」も確認してください。

・ HULFT のエラーの場合



セゾン情報システムズにお問い合わせください。

・ 障害内容がお客様に起因していない場合

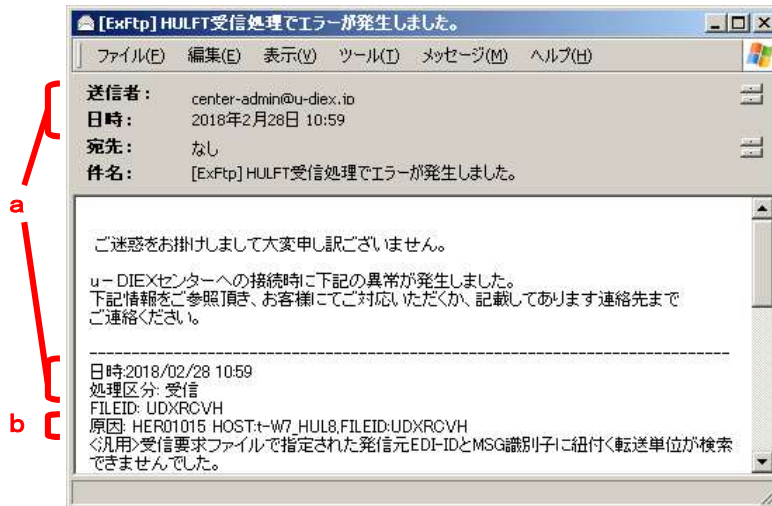


次ページへ進んでください。

#### 4. 「エラー通知メール」が届いていないか確認します。

##### ■ メールが届いている場合

##### (1) メールの本文から、メッセージ ID を取得します。



- a. メール受信日時、メール本文の日時・処理区分から、今回のエラーに関するメールであるかどうかを判断します。
- b. メール本文の、「原因」に記載されている「メッセージ ID」を取得します。

##### (2) 「送受信時メッセージ一覧」から、該当のメッセージ ID を探します。

メール本文の内容、および「送受信時メッセージ一覧」に記載されている対処パターンに従い、お客様にて対応をお願いいたします。

- ・ お客様での対応が必要な場合



「4. お客様での確認・調査・対応方法手順」へ進んでください。

- ・ 対応方法を読んでもわからない場合
- ・ 「弊社までご連絡ください」の記載があった場合



弊社カスタマーセンターへご連絡ください。

### 3. エラーメッセージ一覧

#### 3.1. 送受信処理の異常終了時に通知・表示されるメッセージ一覧

送信処理実行時 発生エラーメッセージ一覧

件名：[ExFtp] HULFT送信処理でエラーが発生しました。

メッセージID	項目	内容	パターン
HES00998	メッセージ内容	システムに異常が発生しました。 カスタマーセンターまでご連絡ください。	
	原因	ISAMファイル異常、パラメタファイル異常などが発生。 直前に出力されたエラーログの内容から、エラー原因を調査してください。	
	対策	カスタマーセンターまでご連絡ください。	
HES01001	メッセージ内容	<汎用> MSG識別子が登録されていません。 <情報公開> データ種別が登録されていません。 支援システムのファイル送受信情報管理に正しく登録されているか確認してください。 <共通> ホスト名が間違っています。 申請されたホスト名と一致している事を確認してください。 HULFTの設定ファイルでホスト名を設定されている場合は、設定ファイルのホスト名と一致している事を確認してください。	⑤ ③
	原因	<汎用> (1) 送信しようとしているMSG識別子が間違っています。 (2) センタにMSG識別子が登録されていません。 <情報公開> (1) 送信しようとしているデータ種別が間違っています。 (2) センタにデータ種別が登録されていません。 <共通> (1) ホスト名が間違っています。	
	対策	<汎用> (1) MSG識別子を修正してください。 (2) [支援システム－ファイル送受信情報管理－送信情報 (MSG識別子)] の登録情報を確認して、修正または新規登録してください。 <情報公開> (1) データ種別を修正してください。 (2) [支援システム－ファイル送受信情報管理－送信情報] の登録情報を確認して、修正または新規登録してください。 <共通> (1) 申請されているホスト名と一致している事を確認してください。 HULFTの設定ファイルでホスト名を設定されている場合は、設定ファイルのホスト名と申請されているホスト名が一致している事を確認してください。	
HES01002	メッセージ内容	<共通> 送信情報ファイルのファイル種別が不正です。 送信情報ファイルを確認してください。	
	原因	<共通> (1) 送信情報ファイルのファイル種別 (1レコード目1-39バイトの固定文字列) が "###U-DIEX HULFT UPLOAD INFORMATION###" になっていません。 (2) 送信情報ファイルが一番最初に結合されていません。	
	対策	<共通> (1) 送信情報ファイルのファイル種別の内容を確認して、間違っていた場合は修正してください。 ※修正後は送信する結合ファイルを再作成する必要があります。 (2) 送信情報ファイルが結合ファイルの一番最初に結合されていない場合は、結合ファイルを作成しなおしてください。 送信情報ファイルの詳細については、「7.6.1. 送信情報ファイルレイアウト」を参照してください。	

メッセージID	項目	内容	パターン
HES01003	メッセージ内容	<p>&lt;汎用&gt; 送信情報ファイルに発信元EDI-IDが設定されていません。</p> <p>&lt;情報公開&gt; 送信情報ファイルに発信元ユーザIDが設定されていません。</p> <p>送信情報ファイルを確認してください。</p>	
	原因	<p>&lt;汎用&gt; 送信情報ファイルの発信元EDI-IDが設定されていません。</p> <p>&lt;情報公開&gt; 送信情報ファイルの発信元ユーザIDが設定されていません。</p>	
	対策	<p>&lt;汎用&gt; 送信情報ファイルの発信元EDI-IDを正しく設定してください。</p> <p>&lt;情報公開&gt; 送信情報ファイルの発信元ユーザIDを正しく設定してください。</p> <p>※修正後は送信する結合ファイルを再作成する必要があります。</p> <p>送信情報ファイルの詳細については、「7.6.1. 送信情報ファイルレイアウト」を参照してください。</p>	
HES01004	メッセージ内容	<p>&lt;情報公開&gt; 送信情報ファイルに発信元会社コードが設定されていません。</p> <p>送信情報ファイルを確認してください。</p>	
	原因	<情報公開> 送信情報ファイルの発信元会社コードが設定されていません。	
	対策	<p>&lt;情報公開&gt; 送信情報ファイルの発信元会社コードを正しく設定してください。</p> <p>※修正後は送信する結合ファイルを再作成する必要があります。</p> <p>送信情報ファイルの詳細については、「7.6.1. 送信情報ファイルレイアウト」を参照してください。</p>	
HES01005	メッセージ内容	<p>&lt;汎用&gt; 送信情報ファイルに宛先EDI-IDが設定されていません。</p> <p>&lt;情報公開&gt; 送信情報ファイルに宛先ユーザIDが設定されていません。</p> <p>送信情報ファイルを確認してください。</p>	
	原因	<p>&lt;汎用&gt; 送信情報ファイルの宛先EDI-IDが設定されていません。</p> <p>&lt;情報公開&gt; 送信情報ファイルの宛先ユーザIDが設定されていません。</p>	
	対策	<p>&lt;汎用&gt; 送信情報ファイルの宛先EDI-IDを正しく設定してください。</p> <p>&lt;情報公開&gt; 送信情報ファイルの宛先ユーザIDを正しく設定してください。</p> <p>※修正後は送信する結合ファイルを再作成する必要があります。</p> <p>送信情報ファイルの詳細については、「7.6.1. 送信情報ファイルレイアウト」を参照してください。</p>	
HES01006	メッセージ内容	<p>&lt;情報公開&gt; 送信情報ファイルに宛先会社コードが設定されていません。</p> <p>送信情報ファイルを確認してください。</p>	
	原因	<情報公開> 送信情報ファイルの宛先会社コードが設定されていません。	
	対策	<p>&lt;情報公開&gt; 送信情報ファイルの宛先会社コードを正しく設定してください。</p> <p>※修正後は送信する結合ファイルを再作成する必要があります。</p> <p>送信情報ファイルの詳細については、「7.6.1. 送信情報ファイルレイアウト」を参照してください。</p>	
HES01007	メッセージ内容	<p>&lt;共通&gt; 送信情報ファイルにデータファイル名が設定されていません。</p> <p>送信情報ファイルを確認してください。</p>	
	原因	<共通> 送信情報ファイルにデータファイル名が設定されていません。	
	対策	<p>&lt;共通&gt; 送信情報ファイルデータファイル名を正しく設定してください。</p> <p>※修正後は送信する結合ファイルを再作成する必要があります。</p> <p>送信情報ファイルの詳細については、「7.6.1. 送信情報ファイルレイアウト」を参照してください。</p>	



メッセージID	項目	内容	パターン
HES01009	メッセージ内容	＜共通＞ 送信情報ファイルに指定したファイル名のデータファイルが結合ファイルに存在しません。 送信情報ファイルに指定したファイル名でデータファイルが結合されている事を確認してください。	
	原因	＜共通＞ 送信情報ファイルに指定したファイル名のデータファイルが結合ファイルに存在しません。	
	対策	＜共通＞ 送信情報ファイルに指定したファイル名と、結合したデータファイルのファイル名を一致させてください。  ※修正後は送信する結合ファイルを再作成する必要があります。 送信情報ファイルの詳細については、「7.6.1. 送信情報ファイルレイアウト」を参照してください。	
HES01010	メッセージ内容	＜共通＞ 送信情報ファイルのデータレコードが重複しています。 重複しているデータレコードを削除してください。	
	原因	＜共通＞ 送信情報ファイルのデータレコードが重複しています。	
	対策	＜共通＞ 送信情報ファイルの重複しているデータレコードを削除してください。  ※修正後は送信する結合ファイルを再作成する必要があります。 送信情報ファイルの詳細については、「7.6.1. 送信情報ファイルレイアウト」を参照してください。	
HES01011	メッセージ内容	＜共通＞ 送信情報ファイルがオープンできません。 送信情報ファイルが壊れていないか確認してください。	
	原因	＜共通＞ 送信情報ファイルがオープンできません。 送信情報ファイルが壊れている可能性があります。	
	対策	＜共通＞ 送信情報ファイルを再作成して、結合ファイルの最初に結合してください。	
HES01012	メッセージ内容	＜汎用＞ TNS形式データのデータ件数と、トレーラレコードのレコード件数が不一致です。 データ件数を確認してください。	
	原因	＜汎用＞ TNS形式データのデータ件数と、トレーラレコードのレコード件数が不一致です。	
	対策	＜汎用＞ TNS形式データのトレーラレコードにあるデータ件数を修正してください。	
HES01013	メッセージ内容	＜共通＞ 送信情報ファイルのレコード長が不正です。 レコード長を100バイトに修正してください。	
	原因	＜共通＞ 送信情報ファイルのレコード長が100バイトになっていません。	
	対策	＜共通＞ 送信情報ファイルのレコード長を100バイトに修正してください。  ※修正後は送信する結合ファイルを再作成する必要があります。 送信情報ファイルの詳細については、「7.6.1. 送信情報ファイルレイアウト」を参照してください。	
HES01014	メッセージ内容	＜汎用＞ 送信情報ファイルで指定された宛先EDI-IDを検索できませんでした。 送信情報ファイルの宛先EDI-IDが間違っていないか、支援システムのファイル送受信情報管理に正しく登録されているか確認してください。	
	原因	＜汎用＞ (1) 送信情報ファイルで指定された宛先EDI-IDが間違っています。 (2) センタに取引先として登録されていません。	
	対策	＜汎用＞ (1) 送信情報ファイルを修正して下さい。 (2) 【支援システム－ファイル送受信情報管理－送信情報（取引先）】の登録情報を確認して、取引先情報を修正または新規登録してください。	

メッセージID	項目	内容	ボタン
HES01015	メッセージ内容	<情報公開> 送信情報ファイルで指定された宛先ユーザIDを検索できませんでした。 送信情報ファイルの宛先ユーザIDが間違っていないか、支援システムのファイル送受信情報管理に正しく登録されているか確認してください。	③
	原因	<情報公開> (1) 送信情報ファイルで指定された宛先ユーザIDが間違っています。 (2) センタに宛先ユーザIDが登録されていません。	
	対策	<情報公開> (1) 送信情報ファイルを修正してください。 (2) [支援システム－ファイル送受信情報管理－送信情報]の登録情報を確認して、修正または新規登録してください。	
HES01018	メッセージ内容	<汎用> 送信情報ファイルで指定された発信元EDI-IDでのデータ送信処理を実行できません。 送信情報ファイルで指定した発信元EDI-IDが正しいか確認してください。	
	原因	<汎用> 送信情報ファイルで指定した発信元EDI-IDが不正です。	
	対策	<汎用> ・送信情報ファイルで指定した発信元EDI-IDが間違っていた場合は、送信情報ファイルを修正してください。 ・送信情報ファイルで指定した発信元EDI-IDが正しい場合は、そのEDI-IDが申請されている事を確認してください。 申請が間違っていた場合、カスタマーセンターまでご連絡ください。	
HES01019	メッセージ内容	<情報公開> 送信情報ファイルで指定された発信元ユーザID、発信元会社コードでのデータ送信処理を実行できません。 送信情報ファイルで指定した発信元ユーザID、または発信元会社コードが正しいか確認してください。	
	原因	<情報公開> 送信情報ファイルで指定された発信元ユーザID、または発信元会社コードが不正です。	
	対策	<情報公開> ・送信情報ファイルで指定した発信元ユーザID、または発信元会社コードが間違っていた場合は、送信情報ファイルを修正してください。 ・送信情報ファイルで指定した発信元ユーザID、または発信元会社コードが正しい場合は、そのユーザID、会社コードが申請されている事を確認してください。 申請が間違っていた場合、カスタマーセンターまでご連絡ください。	
HES01091	メッセージ内容	システムに異常が発生しました。 カスタマーセンターまでご連絡ください。	
	原因	原因が特定できません。	
	対策	カスタマーセンターまでご連絡ください。	
HES01093	メッセージ内容	<共通> ウィルスが検出されました。 送信しようとしたファイルのウィルスを除去してください。	
	原因	<共通> 送信しようとしたファイルがウィルスに感染しています。	
	対策	<共通> 送信しようとしたファイルのウィルスを除去してください。	
HES01094	メッセージ内容	<情報公開> アップロード先のフォルダにアクセス権がありません。	③
	原因	<情報公開> (1) アップロード先のフォルダにアクセス権がありません。 (2) 格納先パス名の設定が間違っています。	
	対策	<情報公開> (1) サービスオーナーにアップロード先フォルダのアクセス権を確認してください。 (2) [支援システム－ファイル送受信情報管理－送信情報]の登録情報を確認して修正または新規登録してください。	

メッセージID	項目	内容	パターン
HES05001	メッセージ内容	<p>&lt;汎用&gt; MSG識別子が登録されていません。</p> <p>&lt;情報公開&gt; データ種別が登録されていません。</p> <p>支援システムのファイル送受信情報管理に正しく登録されているか確認してください。</p> <p>&lt;共通&gt; ホスト名が間違っています。</p> <p>申請されたホスト名と一致している事を確認してください。</p> <p>HULFTの設定ファイルでホスト名を設定されている場合は、設定ファイルのホスト名と一致している事を確認してください。</p>	⑤  ③
	原因	<p>&lt;汎用&gt;</p> <p>(1) 送信しようとしているMSG識別子が間違っています。</p> <p>(2) センタにMSG識別子が登録されていません。</p> <p>&lt;情報公開&gt;</p> <p>(1) 送信しようとしているデータ種別が間違っています。</p> <p>(2) センタにデータ種別が登録されていません。</p> <p>&lt;共通&gt;</p> <p>(1) ホスト名が間違っています。</p>	
	対策	<p>&lt;汎用&gt;</p> <p>(1) MSG識別子を修正してください。</p> <p>(2) [支援システム－ファイル送受信情報管理－送信情報 (MSG識別子)] の登録情報を確認して、修正または新規登録してください。</p> <p>&lt;情報公開&gt;</p> <p>(1) データ種別を修正してください。</p> <p>(2) [支援システム－ファイル送受信情報管理－送信情報] の登録情報を確認して、修正または新規登録してください。</p> <p>&lt;共通&gt;</p> <p>(1) 申請されているホスト名と一致している事を確認してください。</p> <p>HULFTの設定ファイルでホスト名を設定されている場合は、設定ファイルのホスト名と申請されているホスト名が一致している事を確認してください。</p>	
HES05003	メッセージ内容	<p>&lt;汎用&gt; 送信情報レコードに発信元EDI-IDが設定されていません。</p> <p>&lt;情報公開&gt; 送信情報レコードに発信元ユーザIDが設定されていません。</p> <p>送信情報レコードを確認してください。</p>	
	原因	<p>&lt;汎用&gt; 送信情報レコードの発信元EDI-IDが設定されていません。</p> <p>&lt;情報公開&gt; 送信情報レコードの発信元ユーザIDが設定されていません。</p>	
	対策	<p>&lt;汎用&gt; 送信情報レコードの発信元EDI-IDを正しく設定してください。</p> <p>&lt;情報公開&gt; 送信情報レコードの発信元ユーザIDを正しく設定してください。</p> <p>※送信情報レコードの詳細については、「7.6.4. 送信情報レコードレイアウト」を参照してください。</p>	
HES05004	メッセージ内容	<p>&lt;情報公開&gt; 送信情報レコードに発信元会社コードが設定されていません。</p> <p>送信情報レコードを確認してください。</p>	
	原因	<p>&lt;情報公開&gt; 送信情報レコードの発信元会社コードが設定されていません。</p>	
	対策	<p>&lt;情報公開&gt; 送信情報レコードの発信元会社コードを正しく設定してください。</p> <p>※送信情報レコードの詳細については、「7.6.4. 送信情報レコードレイアウト」を参照してください。</p>	
HES05005	メッセージ内容	<p>&lt;汎用&gt; 送信情報レコードに宛先EDI-IDが設定されていません。</p> <p>&lt;情報公開&gt; 送信情報レコードに宛先ユーザIDが設定されていません。</p> <p>送信情報レコードを確認してください。</p>	
	原因	<p>&lt;汎用&gt; 送信情報レコードの宛先EDI-IDが設定されていません。</p> <p>&lt;情報公開&gt; 送信情報レコードの宛先ユーザIDが設定されていません。</p>	
	対策	<p>&lt;汎用&gt; 送信情報レコードの宛先EDI-IDを正しく設定してください。</p> <p>&lt;情報公開&gt; 送信情報レコードの宛先ユーザIDを正しく設定してください。</p> <p>※送信情報レコードの詳細については、「7.6.4. 送信情報レコードレイアウト」を参照してください。</p>	



メッセージID	項目	内容	パターン
HES05006	メッセージ内容	<情報公開> 送信情報レコードに宛先会社コードが設定されていません。 送信情報レコードを確認してください。	
	原因	<情報公開> 送信情報レコードの宛先会社コードが設定されていません。	
	対策	<情報公開> 送信情報レコードの宛先会社コードを正しく設定してください。  ※送信情報レコードの詳細については、「7.6.4. 送信情報レコードレイアウト」を参照してください。	
HES05014	メッセージ内容	<汎用> 送信情報レコードで指定された宛先EDI-IDを検索できませんでした。 送信情報レコードの宛先EDI-IDが間違っていないか、支援システムのファイル送受信情報管理に正しく登録されているか確認してください。	④
	原因	<汎用> (1) 送信情報レコードで指定された宛先EDI-IDが間違っています。 (2) センタに取引先として登録されていません。	
	対策	<汎用> (1) 送信情報レコードを修正して下さい。 (2) 【支援システム－ファイル送受信情報管理－送信情報（取引先）】の登録情報を確認して、取引先情報を修正または新規登録してください。	
HES05015	メッセージ内容	<情報公開> 送信情報レコードで指定された宛先ユーザIDを検索できませんでした。 送信情報レコードの宛先ユーザIDが間違っていないか、支援システムのファイル送受信情報管理に正しく登録されているか確認してください。	③
	原因	<情報公開> (1) 送信情報レコードで指定された宛先ユーザIDが間違っています。 (2) センタに宛先ユーザIDが登録されていません。	
	対策	<情報公開> (1) 送信情報レコードを修正してください。 (2) 【支援システム－ファイル送受信情報管理－送信情報】の登録情報を確認して、修正または新規登録してください。	
HES05018	メッセージ内容	<汎用> 送信情報レコードで指定された発信元EDI-IDでのデータ送信処理を実行できません。 送信情報レコードで指定した発信元EDI-IDが正しいか確認してください。	
	原因	<汎用> 送信情報レコードで指定した発信元EDI-IDが不正です。	
	対策	<汎用> ・送信情報レコードで指定した発信元EDI-IDが間違っていた場合は、送信情報レコードを修正してください。 ・送信情報レコードで指定した発信元EDI-IDが正しい場合は、そのEDI-IDが申請されている事を確認してください。 申請が間違っていた場合、カスタマーセンターまでご連絡ください。	
HES05019	メッセージ内容	<情報公開> 送信情報レコードで指定された発信元ユーザID、発信元会社コードでのデータ送信処理を実行できません。 送信情報レコードで指定した発信元ユーザID、または発信元会社コードが正しいか確認してください。	
	原因	<情報公開> 送信情報レコードで指定された発信元ユーザID、または発信元会社コードが不正です。	
	対策	<情報公開> ・送信情報レコードで指定した発信元ユーザID、または発信元会社コードが間違っていた場合は、送信情報レコードを修正してください。 ・送信情報レコードで指定した発信元ユーザID、または発信元会社コードが正しい場合は、そのユーザID、会社コードが申請されている事を確認してください。 申請が間違っていた場合、カスタマーセンターまでご連絡ください。	

メッセージID	項目	内容	パターン
HES05033	メッセージ内容	＜共通＞ 送信情報レコードのサイズが不正です。 送信情報レコードを確認してください。	
	原因	＜共通＞ 送信情報レコードのレコード長が40バイト未満です。	
	対策	＜共通＞ 送信情報レコードの設定内容を確認してください。  ※送信情報レコードの詳細については、「7.6.4. 送信情報レコードレイアウト」を参照してください。	
HES05034	メッセージ内容	＜共通＞ 送信情報レコードの識別文字列が不正です。 送信情報レコードを確認してください。	
	原因	＜共通＞ 送信情報レコードの識別文字列が[##UPINFO##]と異なります。	
	対策	＜共通＞ 送信情報レコードの識別文字列を[##UPINFO##]に修正してください。  ※送信情報レコードの詳細については、「7.6.4. 送信情報レコードレイアウト」を参照してください。	
HES05035	メッセージ内容	＜共通＞ 送信情報レコードの終端コードが見つかりません。 送信情報レコードを確認してください。	
	原因	＜共通＞ 送信情報レコードに終端コード(0x0aまたはCR&LF)がありません。	
	対策	＜共通＞ 送信情報レコードに終端コード(0x0aまたはCR&LF)を付加してください。  ※送信情報レコードの詳細については、「7.6.4. 送信情報レコードレイアウト」を参照してください。	
HES05036	メッセージ内容	＜共通＞ 文字コードがEBCDICコードで作成された送信情報レコードのサイズが不正です。 送信情報レコードを確認してください。	
	原因	＜共通＞ 文字コードがEBCDICコードで作成された送信情報レコードのレコード長が 送信情報で登録されたレコード長バイト未満です。	
	対策	＜共通＞ 文字コードがEBCDICコードで作成された送信情報レコードの設定内容を確認 してください。  ※送信情報レコードの詳細については、「7.6.4. 送信情報レコードレイアウト」を参照 してください。	
HES05037	メッセージ内容	＜汎用＞ 自由形式(送信情報レコード)の登録内容が不正です。	
	原因	＜汎用＞ 【支援システム－ファイル送受信情報管理－送信情報(MSG識別子)】で登録した レコード長の指定が不正です。	
	対策	＜汎用＞ レコード長の指定が、40バイト未満、または数字以外の文字で入力されてい ないことを確認してください。	
HES05038	メッセージ内容	＜情報公開＞ 自由形式(送信情報レコード)の登録内容が不正です。	
	原因	＜情報公開＞ 【支援システム－ファイル送受信情報管理－送信情報】で登録したレコード長 の指定が不正です。	
	対策	＜情報公開＞ レコード長の指定が、40バイト未満、または数字以外の文字で入力されて いないことを確認してください。	
HES05091	メッセージ内容	システムに異常が発生しました。 カスタマーセンターまでご連絡ください。	
	原因	原因が特定できません。	
	対策	カスタマーセンターまでご連絡ください。	

メッセージID	項目	内容	パターン
HES11016	メッセージ内容	＜汎用＞ TNSヘッダで指定された発信元コードが不正です。 TNSヘッダで指定した発信元コードが正しいか確認してください。	
	原因	＜汎用＞ TNSヘッダで指定された発信元コードが不正です。	
	対策	＜汎用＞ ・TNSヘッダで指定された発信元コードが間違っていた場合は、ヘッダを修正してください。 ・TNSヘッダで指定された発信元コードが正しい場合は、そのコードが申請されている事を確認してください。 申請が間違っていた場合、カスタマーセンターへご連絡ください。	
HES11017	メッセージ内容	＜汎用＞ TNSヘッダで指定された宛先コードで宛先の取引先コードを検索できませんでした。 TNSヘッダで指定した宛先コードが間違っていないか、支援システムのファイル送受信情報管理に正しく登録されているか確認してください。	④
	原因	＜汎用＞ (1) TNSヘッダで指定された宛先コードが間違っています。 (2) センタに取引先として登録されていません。	
	対策	＜汎用＞ (1) TNSヘッダを修正して下さい。 (2) TNSヘッダで指定した宛先コードが正しい場合は、[支援システム－ファイル送受信情報管理－送信情報（取引先）]の登録情報を確認して、取引先情報を修正または新規登録してください。	
HES11018	メッセージ内容	＜汎用＞ TNSヘッダで指定された発信元コードでのデータ送信処理を実行できません。 TNSヘッダで指定した 発信元コードが正しいか確認してください。	
	原因	＜汎用＞ TNSヘッダで指定された発信元コードが不正です。	
	対策	＜汎用＞ ・TNSヘッダで指定された発信元コードが間違っていた場合は、ヘッダを修正してください。 ・TNSヘッダで指定された発信元コードが正しい場合は、そのコードが申請されている事を確認してください。 申請が間違っていた場合、カスタマーセンターへご連絡ください。	
HES11021	メッセージ内容	＜汎用＞ TNS標準形式データのファイルフォーマット（H，D，T）が不正です。 送信データを確認してください。	
	原因	＜汎用＞ TNS標準形式データのフォーマットがH（ヘッダ），D（データ），T（トレーラ）の形式になっていません。	
	対策	＜汎用＞ 送信データをTNS標準形式のAPL受け渡しフォーマットに合わせてください。	
HES11022	メッセージ内容	＜汎用＞ TNS標準形式データのヘッダレコード内の宛先コードが不正です。送信データを確認してください。 使用可能文字列：0～9,A～Z,空白（オールブランクは不可）	
	原因	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内の宛先コードが不正です。 使用可能文字列：0～9,A～Z,空白（オールブランクは不可）	
	対策	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内の宛先コードを修正してください。	
HES11023	メッセージ内容	＜汎用＞ TNS標準形式データのヘッダレコード内の発信元コードが不正です。送信データを確認してください。 使用可能文字列：0～9,A～Z,空白（オールブランクは不可）	
	原因	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内の発信元コードが不正です。 使用可能文字列：0～9,A～Z,空白（オールブランクは不可）	
	対策	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内の発信元コードを修正してください。	

メッセージID	項目	内容	パターン
HES11024	メッセージ内容	＜汎用＞ TNS標準形式データのヘッダレコード内のファイルコードが不正です。送信データを確認してください。 使用可能文字列：0～9,A～Z,空白（先頭・中間・オールブランクは不可）	
	原因	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内のファイルコードが不正です。 使用可能文字列：0～9,A～Z,空白（先頭・中間・オールブランクは不可）	
	対策	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内のファイルコードを修正してください	
HES11025	メッセージ内容	＜汎用＞ TNS標準形式データのヘッダレコード内の作成日付が不正です。送信データを確認してください。 使用可能文字列：0～9	
	原因	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内の作成日付が不正です。 使用可能文字列：0～9	
	対策	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内の作成日付を修正してください。	
HES11026	メッセージ内容	＜汎用＞ TNS標準形式データのヘッダレコード内のSEQ No.が不正です。送信データを確認してください。 使用可能文字列：00～99	
	原因	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内のSEQ No.が不正です。 使用可能文字列：00～99	
	対策	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内のSEQ No.を修正してください。	
HES11027	メッセージ内容	＜汎用＞ TNS標準形式データのヘッダレコード内のアプリ有効長が不正です。送信データを確認してください。 使用可能文字列：00002～00250（先頭・中間・末尾のブランク不可）	
	原因	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内のアプリ有効長が不正です。 使用可能文字列：00002～00250（先頭・中間・末尾のブランク不可）	
	対策	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内のアプリ有効長を修正してください。	
HES11033	メッセージ内容	＜汎用＞ TNS標準形式データのヘッダレコード内の漢字コードが不正です。送信データを確認してください。 使用可能文字列：0～9,A～Z,空白	
	原因	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内の漢字コード指定が不正です。 使用可能文字列：0～9,A～Z,空白	
	対策	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内の漢字コードの指定内容を修正してください。	
HES11091	メッセージ内容	システムに異常が発生しました。 カスタマーセンターまでご連絡ください。	
	原因	原因が特定できません。	
	対策	カスタマーセンターまでご連絡ください。	
HES12016	メッセージ内容	＜汎用＞ TNSヘッダで指定された発信元コードが不正です。 TNSヘッダで指定した発信元コードが正しいか確認してください。	
	原因	＜汎用＞ TNSヘッダで指定された発信元コードが不正です。	
	対策	＜汎用＞ TNSヘッダで指定された発信元コードが間違っていた場合はヘッダを修正してください。	



メッセージID	項目	内容	パターン
HES12017	メッセージ内容	＜汎用＞ TNSヘッダで指定された宛先コードで宛先の取引先コードを検索できませんでした。 TNSヘッダで指定した宛先コードが間違っていないか、支援システムのファイル送受信情報管理に正しく登録されているか確認してください。	④
	原因	＜汎用＞ (1) TNSヘッダで指定された宛先コードが間違っています。 (2) センタに取引先として登録されていません。	
	対策	＜汎用＞ (1) TNSヘッダを修正して下さい。 (2) TNSヘッダで指定した宛先コードが正しい場合は、【支援システム－ファイル送受信情報管理－送信情報（取引先）】の登録情報を確認して、取引先情報を修正または新規登録してください。	
HES12018	メッセージ内容	＜汎用＞ TNSヘッダで指定された発信元コードでのデータ送信処理を実行できません。 TNSヘッダで指定した 発信元コードが正しいか確認してください。	
	原因	＜汎用＞ TNSヘッダで指定された発信元コードが不正です。	
	対策	＜汎用＞ ・TNSヘッダで指定された発信元コードが間違っていた場合は、ヘッダを修正してください。 ・TNSヘッダで指定された発信元コードが正しい場合は、そのコードが申請されている事を確認してください。 申請が間違っていた場合、カスタマーセンターへご連絡ください。	
HES12021	メッセージ内容	＜汎用＞ TNS拡張形式データのファイルフォーマット（H、D、T）が不正です。 送信データを確認してください。	
	原因	＜汎用＞ TNS拡張形式データのフォーマットがH（ヘッダ）、D（データ）、T（トレーラ）の形式になっていません。	
	対策	＜汎用＞ 送信データをTNS拡張形式のAPL受け渡しフォーマットに合わせてください。	
HES12022	メッセージ内容	＜汎用＞ TNS拡張形式データのヘッダレコード内の宛先コードが不正です。送信データを確認してください。 使用可能文字列：0～9,A～Z,空白（オールブランクは不可）	
	原因	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内の宛先コードが不正です。 使用可能文字列：0～9,A～Z,空白（オールブランクは不可）	
	対策	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内の宛先コードを修正してください。	
HES12023	メッセージ内容	＜汎用＞ TNS拡張形式データのヘッダレコード内の発信元コードが不正です。送信データを確認してください。 使用可能文字列：0～9,A～Z,空白（オールブランクは不可）	
	原因	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内の発信元コードが不正です。 使用可能文字列：0～9,A～Z,空白（オールブランクは不可）	
	対策	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内の発信元コードを修正してください。	
HES12024	メッセージ内容	＜汎用＞ TNS拡張形式データのヘッダレコード内のファイルコードが不正です。送信データを確認してください。 使用可能文字列：0～9,A～Z,後ろ空白（先頭・中間・オールブランクは不可）	
	原因	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内のファイルコードが不正です。 使用可能文字列：0～9,A～Z,後ろ空白（先頭・中間・オールブランクは不可）	
	対策	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内のファイルコードを修正してください。	

メッセージID	項目	内容	パターン
HES12025	メッセージ内容	＜汎用＞ TNS拡張形式データのヘッダレコード内の作成日付が不正です。送信データを確認してください。 使用可能文字列：0～9	
	原因	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内の作成日付が不正です。 使用可能文字列：0～9	
	対策	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内の作成日付を修正してください。	
HES12026	メッセージ内容	＜汎用＞ TNS拡張形式データのヘッダレコード内のSEQ No.が不正です。送信データを確認してください。 使用可能文字列：00～99	
	原因	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内のSEQ No.が不正です。 使用可能文字列：00～99	
	対策	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内のSEQ No.を修正してください。	
HES12027	メッセージ内容	＜汎用＞ TNS拡張形式データのヘッダレコード内のアプリ有効長が不正です。送信データを確認してください。 使用可能文字列：00007～01000（先頭・中間・末尾のブランク不可）	
	原因	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内のアプリ有効長が不正です。 使用可能文字列：00007～01000（先頭・中間・末尾のブランク不可）	
	対策	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内のアプリ有効長を修正してください。	
HES12028	メッセージ内容	＜汎用＞ TNS拡張形式データのヘッダレコード内の宛先拠点コードが不正です。送信データを確認してください。 使用可能文字列：0～9,A～Z,空白	
	原因	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内の宛先拠点コードが不正です。 使用可能文字列：0～9,A～Z,空白	
	対策	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内の宛先拠点コードを修正してください。	
HES12029	メッセージ内容	＜汎用＞ TNS拡張形式データのヘッダレコード内の発信元拠点コードが不正です。送信データを確認してください。 使用可能文字列：0～9,A～Z,空白	
	原因	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内の発信元拠点コードが不正です。 使用可能文字列：0～9,A～Z,空白	
	対策	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内の発信元拠点コードを修正してください。	
HES12030	メッセージ内容	＜汎用＞ TNS拡張形式データのヘッダレコード内のファイル詳細コードが不正です。 送信データを確認してください。 使用可能文字列：0～9,A～Z,空白	
	原因	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内のファイル詳細コードが不正です。 使用可能文字列：0～9,A～Z,空白	
	対策	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内のファイル詳細コードを修正してください。	
HES12031	メッセージ内容	＜汎用＞ TNS拡張形式データのヘッダレコード内の作成世紀が不正です。送信データを確認してください。 使用可能文字列：00～99（ブランク不可）	
	原因	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内の作成世紀が不正です。 使用可能文字列：00～99（ブランク不可）	
	対策	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内の作成世紀を修正してください。	

メッセージID	項目	内容	パターン
HES12032	メッセージ内容	＜汎用＞ TNS拡張形式データのヘッダレコード内のSEQ拡張が不正です。送信データを確認してください。 使用可能文字列：0～9（ブランク不可）	
	原因	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内のSEQ拡張が不正です。 使用可能文字列：0～9（ブランク不可）	
	対策	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内のSEQ拡張を修正してください。	
HES12033	メッセージ内容	＜汎用＞ TNS拡張形式データのヘッダレコード内の漢字コードが不正です。送信データを確認してください。 使用可能文字列：0～9,A～Z,空白	
	原因	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内の漢字コード指定が不正です。 使用可能文字列：0～9,A～Z,空白	
	対策	＜汎用＞ TNSヘッダレコード内の漢字コードの指定内容を修正してください。	
HES12091	メッセージ内容	システムに異常が発生しました。 カスタマーセンターまでご連絡ください。	
	原因	原因が特定できません。	
	対策	カスタマーセンターまでご連絡ください。	

## 受信処理実行時 発生エラーメッセージ一覧

件名: [ExFtp] HULFT受信処理でエラーが発生しました。

メッセージID	項目	内容	パターン
HER00015	メッセージ内容	同一のMSG識別子、データ種別で同時に受信要求され、排他状態が規定時間を超えました。	
	原因	排他テーブル異常、または何らかの原因で、排他状態が継続しています。	
	対策	カスタマーセンターまでご連絡ください。	
HER00998	メッセージ内容	システムに異常が発生しました。 カスタマーセンターまでご連絡ください。	
	原因	ISAMファイル異常、パラメタファイル異常などが発生。 直前に出力されたエラーログの内容から、エラー原因を調査してください。	
	対策	カスタマーセンターまでご連絡ください。	
HER01001	メッセージ内容	システムに異常が発生しました。 カスタマーセンターまでご連絡ください。	
	原因	原因が特定できません。	
	対策	カスタマーセンターまでご連絡ください。	
HER01002	メッセージ内容	＜汎用＞ 受信要求ファイルで指定されたMSG識別子が間違っているか、登録されていません。 ＜情報公開＞ 受信要求ファイルで指定されたデータ種別が間違っているか、登録されていません。 支援システムのファイル送受信情報管理にて正しく登録されているか確認してください。	
	原因	＜汎用＞ (1) 受信要求ファイルで指定されたMSG識別子が間違っています。 (2) センタにMSG識別子が登録されていません。 ＜情報公開＞ (1) 受信要求ファイルで指定されたデータ種別が間違っています。 (2) センタにデータ種別が登録されていません。	
	対策	＜汎用＞ (1) 受信要求ファイルで指定したMSG識別子を修正してください。 (2) [支援システム-ファイル送受信情報管理-受信情報]の登録情報を確認して、修正または登録してください。 ＜情報公開＞ (1) 受信要求ファイルで指定したデータ種別を修正してください。 (2) [支援システム-ファイル送受信情報管理-受信情報]の登録情報を確認して、修正または登録してください。	① ①
HER01003	メッセージ内容	＜汎用＞ 受信要求ファイルに発信元EDI-IDが設定されていません。 ＜情報公開＞ 受信要求ファイルに発信元ユーザIDが設定されていません。 受信要求ファイルを確認してください。	
	原因	＜汎用＞ 受信要求ファイルに発信元EDI-IDが設定されていません。 ＜情報公開＞ 受信要求ファイルに発信元ユーザIDが設定されていません。	
	対策	＜汎用＞ 受信要求ファイルに発信元EDI-IDを正しく設定してください。 ＜情報公開＞ 受信要求ファイルに発信元ユーザIDを正しく設定してください。	
HER01004	メッセージ内容	＜情報公開＞ 受信要求ファイルに発信元会社コードが設定されていません。 受信要求ファイルを確認してください。	
	原因	＜情報公開＞ 受信要求ファイルに発信元会社コードが設定されていません。	
	対策	＜情報公開＞ 受信要求ファイルに発信元会社コードを正しく設定してください。	



メッセージID	項目	内容	パターン
HER01005	メッセージ内容	＜汎用＞ 受信要求ファイルにMSG識別子が設定されていません。 ＜情報公開＞ 受信要求ファイルにデータ種別が設定されていません。 受信要求ファイルを確認してください。	
	原因	＜汎用＞ 受信要求ファイルにMSG識別子が設定されていません。 ＜情報公開＞ 受信要求ファイルにデータ種別が設定されていません。	
	対策	＜汎用＞ 受信要求ファイルにMSG識別子を正しく設定してください。 ＜情報公開＞ 受信要求ファイルにデータ種別を正しく設定してください。	
HER01006	メッセージ内容	システムに異常が発生しました。 カスタマーセンターまでご連絡ください。	
	原因	原因が特定できません。	
	対策	カスタマーセンターまでご連絡ください。	
HWR01007	メッセージ内容	＜汎用＞ センタに登録されていないMSG識別子のデータファイル受信をスキップしました。	
	原因	＜汎用＞ (1) センタに蓄積されているデータファイルのMSG識別子がセンタに登録されていません。 (2) センタに登録してあるMSG識別子が間違っています。 (3) 発信元がセンタに登録したMSG識別子が間違っています。	
	対策	＜汎用＞ (1) [支援システム－ファイル送受信情報管理－受信情報] に該当のMSG識別子登録してください。 (2) [支援システム－ファイル送受信情報管理－受信情報] で登録されているMSG識別子を確認してください。 (3) 発信元へMSG識別子の変更を依頼してください。 間違えて蓄積されたデータの削除は、カスタマーセンターまでご連絡ください。	
HWR01008	メッセージ内容	＜情報公開＞ センタに登録されていないデータ種別のデータファイル受信をスキップしました。	
	原因	＜情報公開＞ (1) センタに蓄積されているデータファイルのデータ種別がセンタに登録されていません。 (2) センタに登録してあるデータ種別が間違っています。 (3) 発信元がセンタに登録したデータ種別が間違っています。	
	対策	＜情報公開＞ (1) [支援システム－ファイル送受信情報管理－受信情報] に該当のMSG識別子登録してください。 (2) [支援システム－ファイル送受信情報管理－受信情報] で登録されているMSG識別子を確認してください。 (3) 発信元へMSG識別子の変更を依頼してください。 間違えて蓄積されたデータの削除は、カスタマーセンターまでご連絡ください。	
HER01012	メッセージ内容	＜汎用＞ 受信要求ファイルのレコード長が不正です。 レコード長を50バイトに修正してください。	
	原因	＜汎用＞ 受信要求ファイルのレコード長が50バイトになっていません。	
	対策	＜汎用＞ 受信要求ファイルのレコード長を50バイトに修正してください。	
HER01013	メッセージ内容	＜情報公開＞ 受信要求ファイルのレコード長が不正です。 レコード長を50バイトに修正してください。	
	原因	＜情報公開＞ 受信要求ファイルのレコード長が50バイトになっていません。	
	対策	＜情報公開＞ 受信要求ファイルのレコード長を50バイトに修正してください。	

メッセージID	項目	内容	パターン
HER01014	メッセージ内容	<p>&lt;汎用&gt; 受信要求ファイルで指定された発信元EDI-IDが不正です。</p> <p>&lt;情報公開&gt; 受信要求ファイルで指定された発信元ユーザIDが不正です。</p> <p>受信要求ファイルを確認してください。</p>	
	原因	<p>&lt;汎用&gt; 受信要求ファイルの発信元EDI-IDが不正です。</p> <p>&lt;情報公開&gt; 受信要求ファイルの発信元ユーザIDが不正です。</p>	
	対策	<p>&lt;汎用&gt; 受信要求ファイルの発信元EDI-IDを修正してください。</p> <p>&lt;情報公開&gt; 受信要求ファイルに指定した発信元ユーザIDを修正してください。</p>	
HER01015	メッセージ内容	<p>&lt;汎用&gt; 受信要求ファイルで指定された発信元EDI-IDとMSG識別子に紐付く転送単位が検索できませんでした。</p> <p>以下の内容を確認してください。</p> <p>(1) 受信要求ファイルに指定した発信元EDI-IDとMSG識別子</p> <p>(2) 【支援システムーファイル送受信情報管理ー受信情報】の登録情報</p> <p>(3) お客様側HULFTの受信要求ファイルのファイルID設定</p>	① ⑧
	原因	<p>&lt;汎用&gt;</p> <p>(1) 受信要求ファイルで指定した発信元EDI-ID、またはMSG識別子が不正です。</p> <p>(2) 受信要求ファイルで指定したMSG識別子がセンタに登録されていません。</p> <p>(3) お客様側HULFTで、受信要求ファイルのファイルIDの設定が不正です。</p>	
	対策	<p>&lt;汎用&gt;</p> <p>(1) 受信要求ファイルに指定した発信元EDI-IDとMSG識別子が正しいことを確認してください。</p> <p>間違っていた場合、受信要求ファイルを修正してください。</p> <p>(2) 【支援システムーファイル送受信情報管理ー受信情報】の登録情報を確認して、修正または新規登録してください。</p> <p>(3) お客様側HULFTの受信要求ファイルのファイルIDの設定を確認して、該当する設定を修正してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転送タイプが「テキスト転送」になっていない。</li> <li>・コード変換が「配信側」になっていない。</li> </ul>	
HER01016	メッセージ内容	<p>&lt;情報公開&gt; 受信要求ファイルで指定された発信元ユーザID、発信元会社コード、データ種別に紐付く転送単位が検索できませんでした。</p> <p>以下の内容を確認してください。</p> <p>(1) 受信要求ファイルに指定した発信元ユーザID、発信元会社コード、データ種別</p> <p>(2) 【支援システムーファイル送受信情報管理ー受信情報】の登録情報</p> <p>(3) お客様側HULFTの受信要求ファイルのファイルID設定</p>	① ⑧
	原因	<p>&lt;情報公開&gt;</p> <p>(1) 受信要求ファイルで指定した発信元ユーザIDとMSG識別子が不正です。</p> <p>(2) 受信要求ファイルで指定した発信元会社コードがセンタに登録されていません。</p> <p>(3) お客様側HULFTで受信要求ファイルのファイルIDの設定が不正です。</p>	
	対策	<p>&lt;情報公開&gt;</p> <p>(1) 受信要求ファイルに指定した発信元ユーザID、発信元会社コード、データ種別が正しい事を確認してください。</p> <p>間違っていた場合、受信要求ファイルを修正してください。</p> <p>(2) 【支援システムーファイル送受信情報管理ー受信情報】の登録情報を確認して、修正または新規登録してください。</p> <p>(3) お客様側HULFTの受信要求ファイルのファイルIDの設定を確認して、該当する設定を修正してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転送タイプが「テキスト転送」になっていない。</li> <li>・コード変換が「配信側」になっていない。</li> </ul>	
HER01018	メッセージ内容	<p>&lt;汎用&gt; 受信要求ファイルで指定された発信元EDI-IDが不正です。</p> <p>&lt;情報公開&gt; 受信要求ファイルで指定された発信元ユーザIDが不正です。</p> <p>受信要求ファイルを確認してください。</p>	
	原因	<p>&lt;汎用&gt; 受信要求ファイルの発信元EDI-IDが不正です。</p> <p>&lt;情報公開&gt; 受信要求ファイルの発信元ユーザIDが不正です。</p>	
	対策	<p>&lt;汎用&gt; 受信要求ファイルの発信元EDI-IDを修正してください。</p> <p>&lt;情報公開&gt; 受信要求ファイルに指定した発信元ユーザIDを修正してください。</p>	

メッセージID	項目	内容	パターン
HER01019	メッセージ内容	＜情報公開＞ 受信要求ファイルで指定された発信元ユーザIDと発信元会社コードに紐づく転送単位が検索できませんでした。 受信要求ファイルに指定した発信元ユーザIDと発信元会社コードを確認してください。	
	原因	＜情報公開＞ 受信要求ファイルで指定された発信元ユーザID、または発信元会社コードが不正です。	
	対策	＜情報公開＞ ・受信要求ファイルに指定した発信元ユーザID、または発信元会社コードを確認してください。 間違っていた場合、受信要求ファイルを修正してください。 ・受信要求ファイルに指定した発信元ユーザID、または発信元会社コードで申請されている事を確認してください。 申請が間違っていた場合、カスタマーセンターへご連絡ください。	
HER01020	メッセージ内容	＜共通＞ 受信要求ファイルで要求されたファイルがセンタ側からの配信処理で失敗しました。 以下の内容を確認してください。 ・お客様側HULFTの集信状況照会にて障害が発生していないか。 ・お客様側HULFTの集信管理情報に登録した情報とセンタに登録した情報の不一致がないか。 ・ネットワーク障害が発生していないか。 上記を確認しても障害箇所が特定できない場合、カスタマーセンターまでご連絡ください。	
	原因	＜共通＞ センタ側からの配信処理で失敗しました。下記原因が考えられます。 (1) お客様側HULFTの集信エラー。 (2) お客様側HULFTの設定情報とセンタ側の登録情報の不一致。 (3) ネットワーク障害。	
	対策	＜汎用＞ (2)-1 【支援システム－受信状況確認】で、想定していないMSG識別子のファイルが届いていないか確認してください。 届いていた場合、【支援システム－ファイル送受信情報管理－受信情報】に、そのMSG識別子登録してください。 (2)-2 お客様側HULFTの集信管理情報に設定したMSG識別子(ファイルID)と、センタ側に登録したMSG識別子が一致している事を確認してください。 ・お客様側HULFTでの確認は【システム管理－集信管理情報】にて確認してください。 ・センタ側の登録情報は【支援システム－ファイル送受信情報管理－受信情報】にて確認してください。 ＜情報公開＞ (2)-1 【支援システム－受信状況確認】で、想定していないデータ種別のファイルが届いていないか確認してください。 届いていた場合、【支援システム－ファイル送受信情報管理－受信情報】に、そのデータ種別登録してください。 (2)-2 お客様側HULFTの集信管理情報に設定したデータ種別(ファイルID)と、センタ側に登録したデータ種別が一致している事を確認してください。 ・お客様側HULFTでの確認は【システム管理－集信管理情報】にて確認してください。 ・センタ側の登録情報は【支援システム－ファイル送受信情報管理－受信情報】にて確認してください。 ＜共通＞ (1) お客様側HULFTの集信状況照会にて異常が発生していた場合、完了コードから、HULFTのマニュアルを参照して障害内容を特定してください。 障害内容がお客様側に起因していない場合、カスタマーセンターまでご連絡ください。 (3) お客様のネットワークに障害が発生していない事を、お客様のネットワーク管理者様にお問合せください。	② ① ⑦ ① ② ① ⑦ ① ⑥
HER01021	メッセージ内容	＜汎用＞ TNS形式データのファイルフォーマット（H，D，T）が不正です。 カスタマーセンターへご連絡ください。	
	原因	＜汎用＞ TNS形式データのフォーマットがH（ヘッダ），D（データ），T（トレーラ）の形式になっていません	
	対策	＜汎用＞ カスタマーセンターへご連絡ください。データの発信元へは、データを修正して再送していただくようにご依頼願います。	

メッセージID	項目	内容	パターン
HER01022	メッセージ内容	<共通> 受信要求ファイルの送信に使用したファイルIDが、登録されていません。	①
	原因	<汎用> 受信要求ファイルで指定されたMSG識別子がセンタに登録されていません。 <情報公開> 受信要求ファイルで指定されたデータ種別がセンタに登録されていません。	
	対策	<汎用> 受信要求ファイルで指定したMSG識別子を 〔支援システム－ファイル送受信情報管理－受信情報〕の登録情報を確認して、 登録または修正してください。 <情報公開> 受信要求ファイルで指定したデータ種別を 〔支援システム－ファイル送受信情報管理－受信情報〕の登録情報を確認して、 登録または修正してください。	
HER01023	メッセージ内容	<共通> ALL受信で、ゼロバイト受信が指定されました。	
	原因	<共通> ALL受信では、ゼロバイト受信を指定できません。	
	対策	<共通> 受信要求ファイルのゼロバイト受信フラグを空白に修正して、再実行してください。	



## 受信処理実行時 発生ワーニングメッセージ一覧

件名： [ExFtp] HULFT受信処理でエラーが発生しました。

メッセージID	項目	内容	パターン
HWR01007	メッセージ内容	<汎用> MSG識別子がセンタに登録されていません。 該当データの受信をスキップしました。	
	原因	<汎用> (1) センタに蓄積されているデータファイルのMSG識別子がセンタに登録されていません。 (2) センタに登録してあるMSG識別子が間違っています。 (3) 発信元がセンタに登録したMSG識別子が間違っています。	
	対策	<汎用> (1) 【支援システム－ファイル送受信情報管理－受信情報】に該当のMSG識別子登録してください。 (2) 【支援システム－ファイル送受信情報管理－受信情報】で登録されているMSG識別子を確認してください。 (3) 発信元へMSG識別子の変更を依頼してください。 間違って蓄積されたデータの削除は、カスタマーセンターまでご連絡ください。	① ①
HWR01008	メッセージ内容	<情報公開> データ種別がセンタに登録されていません。 該当データの受信をスキップしました。	
	原因	<情報公開> (1) センタに蓄積されているデータファイルのデータ種別がセンタに登録されていません。 (2) センタに登録してあるデータ種別が間違っています。 (3) 発信元がセンタに登録したデータ種別が間違っています。	
	対策	<情報公開> (1) 【支援システム－ファイル送受信情報管理－受信情報】に該当のMSG識別子登録してください。 (2) 【支援システム－ファイル送受信情報管理－受信情報】で登録されているMSG識別子を確認してください。 (3) 発信元へMSG識別子の変更を依頼してください。 間違って蓄積されたデータの削除は、カスタマーセンターまでご連絡ください。	① ①

## 4. お客様での確認, 調査, 対応方法手順

発生したエラーの対策を行っていただく上で、お客様にて確認・調査をしていただき、登録内容の修正、新規登録作業をしていただく場合がございます。

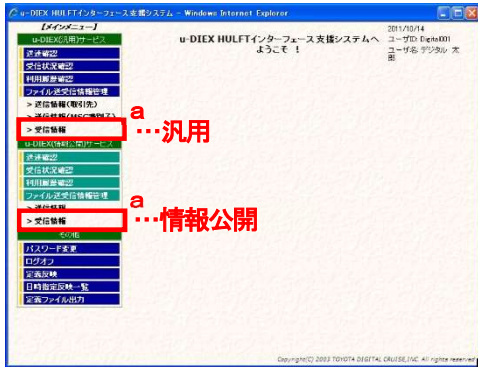


### ○主な確認項目

確認する対象	パターン	確認するメニュー
HULFT インターフェース 支援システム (Web)	①	ファイル送受信情報管理－受信情報
	②	受信状況確認
	③	ファイル送受信情報管理－送信情報 情報公開のみ
	④	ファイル送受信情報管理－送信情報(取引先) 汎用のみ
	⑤	ファイル送受信情報管理－送信情報(MSG 識別子) 汎用のみ
お客様 HULFT	⑥	状況照会－集信状況照会
	⑦	システム管理－集信管理情報
	⑧	システム管理－配信管理情報－受信要求ファイル

## 4.1. パターン① [ファイル送受信情報管理－受信情報]

受信しようとする { MSG 識別子(汎用)  
データ種別(情報公開) } が正しく登録されているかの確認方法

「HULFT インターフェース支援システム」にログインし、エラーが発生している対象サービス(汎用、または情報公開)の [ファイル送受信情報管理－受信情報] が正しく登録されているかを確認します。

- (1) 
  - a. エラーが発生している対象サービスのメニュー[受信情報]をクリックします。
- (2) 
  - b. 調べたい MSG 識別子(汎用)/データ種別(情報公開)を入力します。  
登録情報を全件表示する場合は、何も入力しません。
  - c. [検索]ボタンをクリックします。
- (3) 
  - d. 登録されている MSG 識別子(汎用)/データ種別(情報公開)が一覧で表示されます。  
  
エラー対象となった情報が、一覧に存在するか確認します。

## ◆登録内容を修正する、新規登録する場合



u-DIEX HULFT インターフェース支援システム操作手順書【u-DIEX(汎用)サービス編】

u-DIEX HULFT インターフェース支援システム操作手順書【u-DIEX(情報公開)サービス編】

を参照してください。

## 4.2. パターン② [受信状況確認]

## センタ上に受信対象ファイルが蓄積されているかの確認方法

「HULFT インターフェース支援システム」にログインし、お客様宛てにセンタ上に蓄積されているファイルを確認します。

(1)



a. エラーが発生している対象サービスの、メニュー[受信状況確認]をクリックします。

(2)



b. 調べたい MSG 識別子(汎用)/データ種別(情報公開)を入力します。  
登録情報を全件表示する場合は、何も入力しません。

c. 対象のファイルが送信された日付を入力します。

d. [検索]ボタンをクリックします。

(3)



e. センタ上に蓄積されている、お客様で受信することが可能なファイルが一覧で表示されます。

調べたいファイルが、一覧に存在するか確認します。



## 4.3. パターン③ [ファイル送受信情報管理－送信情報] - 情報公開 -

送信しようとする データ種別 が正しく登録されているかの確認方法

「HULFT インターフェース支援システム」にログインし、[ファイル送受信情報管理－送信情報]が正しく登録されているかを確認します。

(1)



- a. u-DIEX(情報公開) サービスのメニュー[送信情報]をクリックします。

(2)



- b. 調べたいデータ種別を入力します。  
登録情報を全件表示する場合は、何も入力しません。
- c. [検索]ボタンをクリックします。

(3)



- d. 登録されているデータ種別が一覧で表示されます。

エラー対象となった情報が、一覧に存在するか確認します。

\*更に詳しく確認する場合は「チェックボックス」をオンにし、  
[詳細]ボタンをクリックして詳細情報を表示します。

## ◆登録内容を修正する、新規登録する場合



u-DIEX HULFT インターフェース支援システム操作手順書【u-DIEX(情報公開)サービス編】

を参照してください。

## 4.4. パターン④ [ファイル送受信情報管理－送信情報(取引先)] - 汎用 -

送信しようとする 宛先(取引先) が正しく登録されているかの確認方法

「HULFT インターフェース支援システム」にログインし、[ファイル送受信情報管理－送信情報(取引先)]が正しく登録されているかを確認します。

(1)



- a. u-DIEX(汎用)サービスのメニュー[送信情報(取引先)]をクリックします。

(2)



- b. 調べたい宛先の相手先 EDI-ID を入力します。  
登録情報を全件表示する場合は、何も入力しません。
- c. [検索]ボタンをクリックします。

(3)



- d. 登録されている相手先 EDI-ID が一覧で表示されます。

エラー対象となった情報が、一覧に存在するか確認します。

\*更に詳しく確認する場合は「チェックボックス」をオンにし、[詳細]ボタンをクリックして詳細情報を表示します。

## ◆登録内容を修正する、新規登録する場合



u-DIEX HULFT インターフェース支援システム操作手順書【u-DIEX(汎用)サービス編】

を参照してください。

## 4.5. パターン⑤ [ファイル送受信情報管理—送信情報(MSG 識別子)] - 汎用 -

送信しようとする MSG 識別子 が正しく登録されているかの確認方法

「HULFT インターフェース支援システム」にログインし、[ファイル送受信情報管理—送信情報(MSG 識別子)]が正しく登録されているかを確認します。

(1)



- a. u-DIEX (汎用) サービスのメニュー[送信情報(MSG 識別子)]をクリックします。

(2)



- b. 調べたい MSG 識別子を入力します。  
登録情報を全件表示する場合は、何も入力しません。
- c. [検索]ボタンをクリックします。

(3)



- d. 登録されている MSG 識別子が一覧で表示されます。

エラー対象となった情報が、一覧に存在するか確認します。

\*更に詳しく確認する場合は「チェックボックス」をオンにし、[詳細]ボタンをクリックして詳細情報を表示します。

## ◆登録内容を修正する、新規登録する場合



u-DIEX HULFT インターフェース支援システム操作手順書【u-DIEX (汎用) サービス編】

を参照してください。

## 4.6. パターン⑥ お客様 HULFT [状況照会－集信状況照会]

## お客様 HULFT 状況照会 でのエラー確認方法

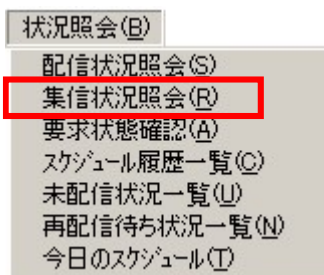
例) Windows の場合

OSによっては、「HULFT 管理画面」起動コマンドを入力する必要があります。  
詳細は、お客様の HULFT オペレーションマニュアルをご参照ください。

(1) メニューより「状況照会」を選択します。

ファイル(F) 表示(V) **状況照会(B)** システム管理(M) 要求発行(R) ツール(T) オプション(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

(2) 「集信状況照会」を選択します。



(3) 「集信状況一覧」画面が表示されます。

ファイルID	ホスト名	開始日付	開始時刻	終了日付	終了時刻	完了コード	コード件数	接続
AAA	ike	2004/08/03	15:01:44	2004/08/03	15:01:44	000000(000000)	2	LAN
AAA	ike	2004/08/03	15:01:07	2004/08/03	15:01:07	109701(000080)	0	LAN
AAA	ike	2004/08/03	15:00:09	2004/08/03	15:00:09	108802(000000)	0	LAN
TEST	yan	2004/07/07	19:38:00	2004/07/07	19:38:00	000000(000000)	1	LAN

a. 開始日付・開始時間を元に、今回のエラーを特定し、「完了コード」を取得します。

b. エラーコード(左側の数字下3桁)を確認します。

**完了コードの見方**

正常 : 000000(000000) ←すべてゼロ

異常 : 123456(789012) ←ゼロ以外

※左側の数字下3桁を、HULFT のマニュアルで調べます。

セゾン情報システムズへお問い合わせください。

## 4.7. パターン⑦ お客様 HULFT [システム管理－集信管理情報]

## お客様 HULFT 集信管理情報 の確認方法

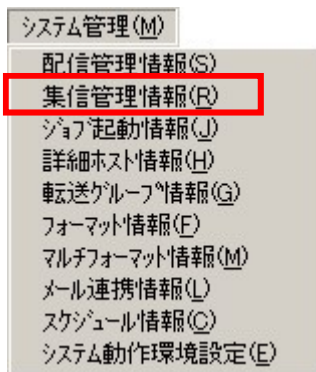
例) Windows の場合

OSによっては、「HULFT 管理画面」起動コマンドを入力する必要があります。  
詳細は、お客様の HULFT オペレーションマニュアルをご参照ください。

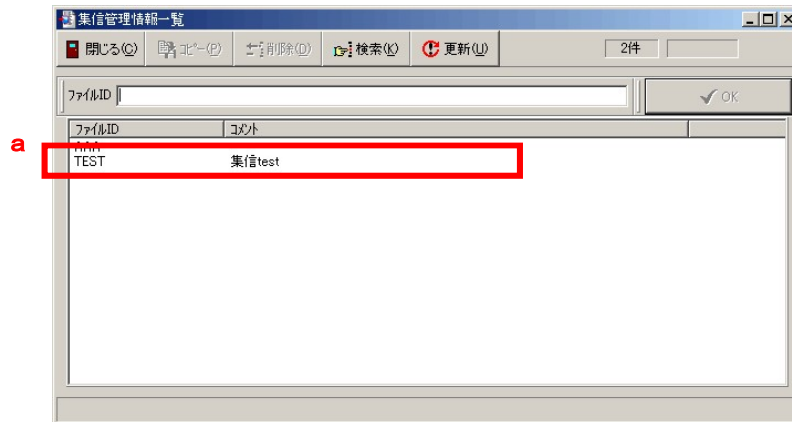
(1) メニューより「システム管理」を選択します。

ファイル(F) 表示(V) 状況照会(B) **システム管理(M)** 要求発行(R) ツール(T) オプション(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

(2) 「集信管理情報」を選択します。

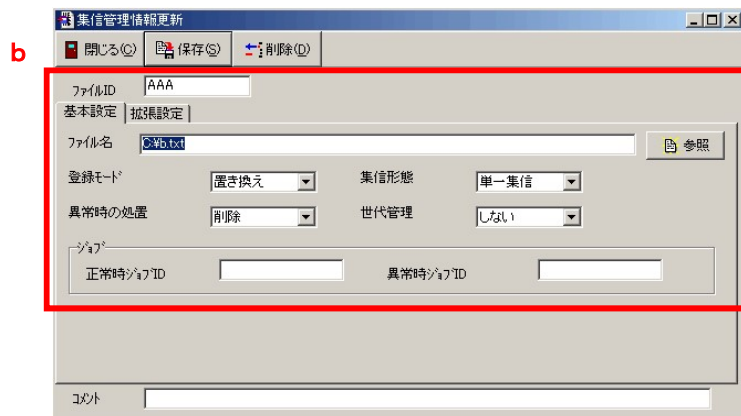


(3) 「集信管理情報一覧」画面が表示されます。



a. 「集信管理情報一覧」より、調べたいファイル ID をダブルクリックします。

(4) 「集信管理情報更新」画面が表示されます。



b. 「集信管理情報更新」画面の内容が正しいかを確認します。



## 4.8. パターン⑧ お客様 HULFT [システム管理－配信管理情報] - 受信要求ファイル -

お客様 HULFT 配信管理情報(受信要求ファイル:UDXRCVH, UDXRCVJ) の確認方法

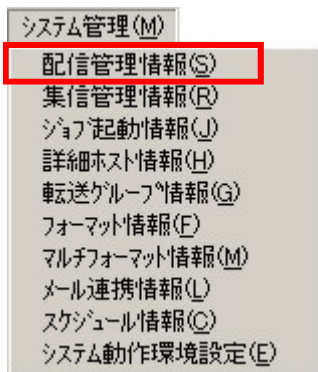
例) Windows の場合

OSによっては、「HULFT 管理画面」起動コマンドを入力する必要があります。  
詳細は、お客様の HULFT オペレーションマニュアルをご参照ください。

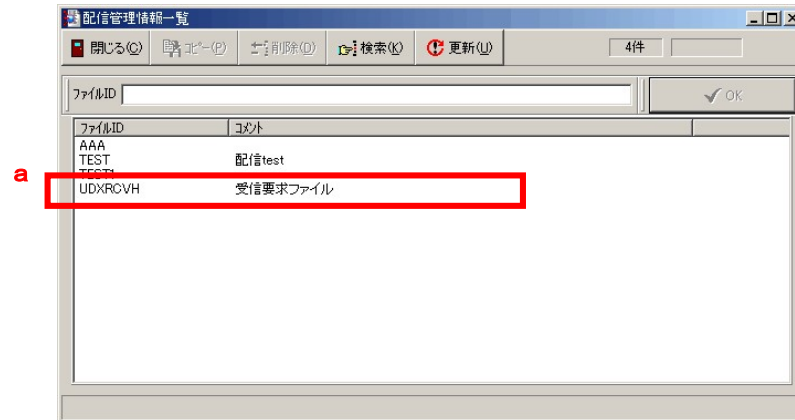
(1) メニューより「システム管理」を選択します。

ファイル(F) 表示(V) 状況照会(B) **システム管理(M)** 要求発行(R) ツール(T) オプション(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

(2) 「配信管理情報」を選択します。



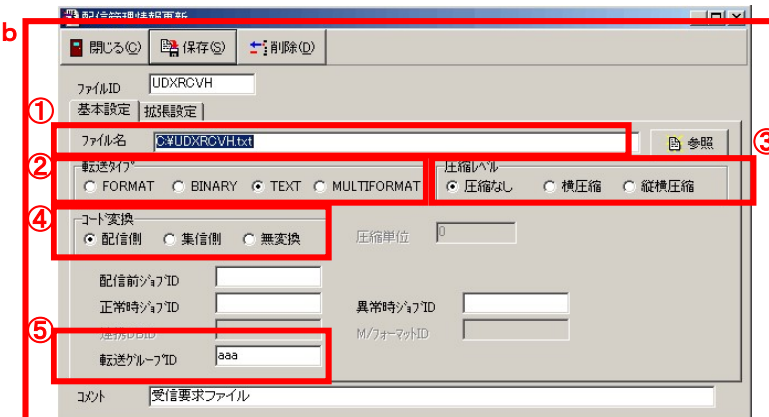
(3) 「配信管理情報一覧」画面が表示されます。



a. 「配信管理情報一覧」より、受信要求ファイルのファイル ID をダブルクリックします。

※ 「受信要求ファイル」のファイル ID  
・汎用 ; UDXRCVH  
・情報公開 ; UDXRCVJ  
上記以外は指定できません。

(4) 「配信管理情報更新」画面が表示されます。



b. 「配信管理情報更新」画面の内容が正しいかを確認します。

#### 確認のポイント

- ① 受信要求ファイルの場所を確認
- ② 転送タイプは「TEXT」に設定
- ③ コード変換は「配信側」に設定
- ④ 圧縮レベルは「圧縮なし」に設定
- ⑤ 転送グループが正しいか確認